

## 建設 Pro の特長

### 1. 充実した補償

- 主要な補償をラインナップ基本プラン
- さらに厚い備えをワイドプラン
- 業務内容に応じたオプション
  - リース・レンタル物件リスク
  - リース・レンタル工作車リスク
  - 地盤崩壊リスク



### 2. 割安な保険料

- パッケージ化により、割安な保険料を実現。さらに、次の割引もご用意しました。
- ↓
- 経営事項審査結果総合評価点による割引
  - ISO9000 シリーズ取得による割引



### 3. お申込み手続きの簡略化

- 年間包括契約の場合、工事ごとの通知は不要です。
- 前年実績に基づいた確定保険料方式を採用しています。（暫定保険料でのご契約も可能です。）



## ご契約方法

### • 対象工事

貴社が日本国内で行うすべての請負工事を対象とする「年間包括契約」または特定の請負工事のみを対象とする「有期工事契約」

のいずれかの方法でご契約いただきます。

### • 保険料

お支払いいただく保険料は、貴社の仕事の内容と完成工事高（直近会計年度の数値）によって決定させていただきます。暫定保険料ではなく確定の保険料ですので、保険期

間終了後に保険料の精算をする煩雑な手続はありません。（暫定保険料でのご契約も可能です。）

- 各補償条項およびオプションには次の支払限度額・免責金額があります。

	補償項目	支払限度額	免責金額			
建設プロ総合賠償拡張補償特約 (基本プラン用)	初期対応費用	1 事故・保険期間中限度額	1,000 万円			
	(上記のうち見舞費用)	被害者 1 名限度額	10 万円			
	訴訟対応費用	1 事故・保険期間中限度額	1,000 万円			
	事故現場後片付け費用	1 事故限度額	50 万円			
		保険期間中限度額	1,000 万円			
	工事場内建設用工作車危険	1 事故・保険期間中限度額	保険証券記載総支払限度額	保険証券記載免責金額		
	漏水危険					
	管理下財物損害					
	(上記のうち直接作業部分)				500 万円	保険証券記載免責金額と 3 万円のいずれか高い金額
	仕事の目的物損壊					
財物の使用不能損害						
塗装作業飛散危険	保険証券記載免責金額					
人格権侵害賠償責任	1,000 万円					
有期工事の保険責任期間延長	保険証券記載総支払限度額					
建設プロ総合賠償拡張補償特約 (ワイドプラン用)	有期工事の終了後の補修作業危険				1 事故・保険期間中限度額	保険証券記載総支払限度額
	工事履行遅滞損害賠償責任		500 万円	保険証券記載免責金額と 3 万円のいずれか高い金額		
			100 万円			
	治療費用	被害者 1 名限度額	30 万円	0 円		
		1 事故・保険期間中限度額	300 万円			
	弁護士相談費用	1 事故限度額	10 万円			
	施設敷地内専用車危険	1 事故・保険期間中限度額	保険証券記載総支払限度額	保険証券記載免責金額		
	支給資材損壊		500 万円	保険証券記載免責金額と 3 万円のいずれか高い金額		
		1 事故限度額	50 万円			
オプション	リース・レンタル建設用工作車		500 万円	保険証券記載免責金額と 3 万円のいずれか高い金額		
	リース・レンタル物件		100 万円	1 事故の被害者 5 名までの場合は 1 事故につき 100 万円、1 事故の被害者 6 名以上の場合は 1 被害者につき 20 万円		
			1 事故・保険期間中限度額		500 万円	

- 上記補償項目によりお支払いする保険金は、オプション（リース・レンタル建設用工作車、リース・レンタル物件、地盤崩壊）をのぞき、保険証券記載の総支払限度額に算入します。
- ワイドプランでは、基本プランの補償に加え、ワイドプランの補償がセットされます。

建設業の賠償リスクをまとめて補償いたします。

	基本プラン	ワイドプラン
工事中の事故	 住宅建設中に工具を落下させてしまい、止めてあった車にキズをつけてしまった。	<b>基本プランの補償に加えて工事中の事故をワイドに補償。</b>  ビル建設現場に夜間に子供が入り込んでケガをした。法律上の責任はなかったが、道義的責任からその治療費用を支払った。(治療費用補償)  建物建設現場で通行人に死傷者を出す事故が発生し、作業が一時停止してしまった。その結果、建物の引渡しが10日間遅延してしまい、請負契約書の履行遅延規定に基づき発注者に支払いしなければならない費用が発生した。(工事履行遅滞損害賠償責任補償)
	 建物内装工事中に誤って作業場内の他人の什器・備品を壊してしまった。(管理下財物損害補償)	
	 工事現場内でクレーンカーの誤操作により横転させてしまい、ガードレールを損傷させてしまった。(工事場内建設用工作車危険補償)	
	 事故でケガをさせてしまい、被害者に対して見舞金と見舞品を持参した。(初期対応費用補償)	
工事完成後の事故	 外壁の施工不備により、外壁のタイルが落下して、通行人にケガをさせた。	<b>基本プランの補償に加えてリコール費用も補償。</b>  内装工事引渡し後に、使用した接着剤の材質が悪く突然壁紙が剥がれ落ちて近くにいた乳児にケガをさせてしまった。同様の事故を防ぐために、同じ接着剤を使用した別の内装工事の壁紙張替をやり直す費用が発生した。(リコール費用補償)  ビル新築工事の完成引渡し後に、強化ガラスに欠陥があり破損して通行人にケガをさせてしまった。このビルを含めて同じガラスを使用した他の建物すべてのガラスを欠陥のないガラスに交換する費用が発生した。(リコール費用補償)
	 配水管から漏水が発生。設置ミスが原因とは断定できないが、事故原因調査のために壁を取り壊すなどの費用が発生した。(初期対応費用補償)	
	 住宅の完成引渡し後に雨漏りが発生。入居者のテレビが濡れてしまい壊れてしまった。	
	 配水管の設置ミスにより漏水。水にぬれてしまった商品の損害の他に配水管の再工事費用がかかった。(仕事の目的物損壊補償)	
常設施設の事故	<b>施設の所有・使用・管理に起因する事故を補償</b>  本社事務所に隣接する常設の資材置場において、積んであった鉄パイプが崩れて近くにいた子供にあたってケガをさせた。	<b>施設内での事故を幅広く補償。</b>  本社構内において構内専用フォークリフトを運転中に、誤って本社にきた取引先の車に接触してしまいキズをつけた。(施設敷地専用車危険補償)

【その他】財物の使用不能損害補償、初期対応費用補償、訴訟対応費用補償、事故現場後片付け費用補償、漏水危険補償、人格権侵害賠償責任補償、施設における受託物賠償責任補償（ワイドプランのみ）、弁護士費用（ワイドプランのみ）の各補償条項が自動的に付帯されます。

上記の2つのプランに加えてご希望のオプションを付けることができます

オプション1	オプション2	オプション3
<b>建設用のリース・レンタル工作車も補償。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リースで使用していたブルドーザーを運転中に誤って横転させてしまい、破損してしまった。</li> <li>レンタルで使用していたショベルカーを夜間に盗まれてしまった。</li> </ul>	<b>リース・レンタルの建設用機械・器具・工具も補償。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>工事現場の資材置場に保管中のレンタルの発電機を盗まれてしまった。</li> <li>リースで使用中のコンプレッサに誤って車両を衝突させ、破損してしまった。</li> </ul> ※記名被保険者のみが対象となります。	<b>地盤崩壊に備えた補償。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅建設工事において水道管工事を行っていたところ、地盤が崩れて隣家の塀が傾いてしまった。</li> <li>工事に伴って地下水が急激に減少したために、隣接する土地で地盤沈下が発生した。</li> </ul> ※工法によって補償の範囲が異なります。詳しくは取扱代理店または弊社営業店へお問い合わせください。

賠償事故に関するその他費用も補償します

- 争訟費用（弁護士報酬等）
- 訴訟対応費用（訴訟対応に必要な費用）
- 損害防止軽減・緊急措置費用（応急手当・護送費用等）
- 求償権保全・行使および協力費用

補償の対象となる方

工事中の事故、工事完成後の対人・対物事故による賠償責任の補償は、下請負人を自動的に補償します。また、元請負人となる工事の場合には発注者までも補償の対象に自動的に含まれます。1つの工期工事のみを対象として

ご契約いただく場合には、基本プランにおいては工事完成後の事故に工期工事の保険責任期間延長補償条項が、ワイドプランにおいては工事中の事故と工事完成後の事故に工期工事終了後の補修作業危険補償条項が、それぞれ適用されます。